



## 2023年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月16日

上場会社名 株式会社シー・エス・ランバー 上場取引所 東  
 コード番号 7808 URL <https://www.c-s-lumber.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中井 千代助  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 加賀美 淳 (TEL) 043-213-8810  
 四半期報告書提出予定日 2023年1月16日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年5月期第2四半期の連結業績(2022年6月1日~2022年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	13,116	12.3	1,820	△8.7	1,797	△8.8	1,276	3.6
2022年5月期第2四半期	11,676	57.0	1,995	227.5	1,970	243.0	1,232	217.3

(注) 包括利益 2023年5月期第2四半期 1,293百万円(7.1%) 2022年5月期第2四半期 1,207百万円(195.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第2四半期	693.10	689.93
2022年5月期第2四半期	673.32	668.21

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第2四半期	21,196	8,031	37.9
2022年5月期	21,031	6,885	32.7

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 8,031百万円 2022年5月期 6,885百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2023年5月期	—	0.00			
2023年5月期(予想)			—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年5月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 20円00銭(創業40周年記念配当)

## 3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	3.5	3,100	△23.7	3,000	△25.5	2,000	△27.7	1,085.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年5月期2Q	1,841,700株	2022年5月期	1,841,700株
2023年5月期2Q	192株	2022年5月期	192株
2023年5月期2Q	1,841,508株	2022年5月期2Q	1,830,429株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年1月25日(水)に開催予定の、機関投資家・アナリスト向け説明会の際に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しながら行動制限の緩和が進み、社会経済活動の正常化に向けたウィズコロナへの移行が進んでおります。一方でウクライナ情勢の長期化や急激な円安の進行などの影響でエネルギー価格、原材料価格など様々な物価上昇に見舞われ、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する住宅関連業界におきましては、建築資材や住設機器、物流コストの上昇により、住宅建築価格の上昇傾向が続いております。当第2四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数は前年同期比0.9%減となり、とりわけ持家の着工戸数が大きく減少しており、今後の経営環境に影響がでる状況と懸念しております。

このような状況のもと、当社は、中期経営計画で新規事業と位置付けた建材販売の受注活動を活発化させ、また製造部門の組織を強化することで生産性の向上に努め、高品質の加工材の提供に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,116百万円(前年同四半期比12.3%増)、営業利益は1,820百万円(同8.7%減)、経常利益は1,797百万円(同8.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,276百万円(同3.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① プレカット事業

当セグメントにおきましては、木材価格が弱含み基調で推移している中、原油高や、円安による原材料の高騰を含めた建設資材価格の高騰、職人不足等の影響による着工戸数の減少で、競合先との厳しい受注競争に直面しております。このような中で取引先との信頼関係を維持するための継続的な訪問営業を展開し、加えて製材や配送の一部を内製化している強みを活かした歩留まりの追求、配送効率向上等にも努めてまいりました。

これにより、在来部門は出荷棟数2,440棟(同1.4%減)、出荷坪数84千坪(同1.4%減)、ツーバイフォー部門は出荷棟数883棟(同16.2%増)、出荷坪数41千坪(同7.1%増)となりました。

その結果、売上高は11,273百万円(同15.0%増)、セグメント利益は1,418百万円(同14.1%減)となりました。

#### ② 建築請負事業

当セグメントにおきましては、既存の取引先からの受注数増に向けた営業強化、新規先開拓に努めましたが、着工棟数96棟、うち、大型木造施設は5棟となり、売上高は前年同期を下回る結果となりました。なお、完工棟数は、前期着工済みを含め91棟、うち、大型木造施設3棟となりました。また、生産性の向上による利益率の改善に努め、セグメント利益は前年同期を上回る結果となりました。

その結果、売上高は1,803百万円(同16.6%減)、セグメント利益は65百万円(同47.5%増)となりました。

#### ③ 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、当四半期において新規の保育所開設がなく前年同期にあった礼金収入がないため、セグメント利益は前年同期を下回る結果となりました。なお保育所以外の賃貸物件を2件取得し、保育所21物件、福祉施設等の11物件から安定した賃料収入を維持しております。

その結果、売上高は375百万円(同6.3%増)、セグメント利益は256百万円(同7.0%減)となりました。

#### ④ その他事業

当セグメントには、不動産販売事業を区分しております。

不動産販売事業におきましては、土地9区画を販売、木造注文住宅1戸を建築着工し、前期着工済みを含め完成住宅6戸を引き渡しました。

その結果、売上高は354百万円(同98.3%増)、セグメント利益は44百万円(同6,514.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて164百万円(0.8%)増加して21,196百万円となりました。これは主に、現金及び預金410百万円、棚卸資産が258百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産422百万円、賃貸不動産(純額)が572百万円増加したことによるものであります。

また、負債の残高は、前連結会計年度末に比べて982百万円(6.9%)減少して13,164百万円となりました。これは主に、社債が350百万円増加したものの、短期借入金130百万円、未払法人税等475百万円、未払消費税等(流動負債その他)208百万円減少したことに加え、長期借入金が530百万円減少したことによるものであります。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,146百万円(16.6%)増加して8,031百万円となりました。これは主に、配当金の支払いによる減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益計上によって利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は37.9%(前連結会計年度末は32.7%)となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ411百万円(8.4%)減少し、4,474百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は563百万円(前年同四半期は911百万円の獲得)となりました。これは主に、売上債権及び契約資産の増加額422百万円、仕入債務の減少額101百万円、未払消費税等の減少額208百万円、及び法人税等の支払額943百万円等の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益1,797百万円、減価償却費194百万円、棚卸資産の減少額258百万円等の増加要因があったことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は594百万円(前年同四半期は577百万円の使用)となりました。これは主に、不動産賃貸事業における賃貸施設の新規取得を中心とした固定資産の取得による支出589百万円等の減少要因があったことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は383百万円(前年同四半期は330百万円の獲得)となりました。これは、短期借入れによる収入10百万円、長期借入れによる収入493百万円、社債の発行による収入500百万円の増加要因があったものの、短期借入金の返済による支出140百万円、長期借入金の返済による支出930百万円、社債の償還による支出50百万円、リース債務の返済による支出102百万円、長期未払金の返済による支出16百万円、及び配当金の支払額147百万円の減少要因があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期通期連結業績予想につきましては、かつてない為替水準による海外資材の調達コストの高騰が進んだことに加えて、不透明な経済状況が消費マインドの減退に影響し、新設住宅着工戸数の減少が懸念される状況ではありますが、現時点では2022年7月15日に公表した通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,921,866	4,510,998
受取手形、売掛金及び契約資産	4,210,492	4,632,705
棚卸資産	1,939,368	1,681,211
その他	88,660	61,172
貸倒引当金	△3,862	△4,046
流動資産合計	11,156,525	10,882,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	784,122	740,085
土地	1,448,145	1,448,145
建設仮勘定	47,210	7,247
賃貸不動産(純額)	6,668,658	7,240,906
その他	329,605	266,537
有形固定資産合計	9,277,741	9,702,921
無形固定資産	110,680	135,608
投資その他の資産		
投資その他の資産	543,055	531,842
貸倒引当金	△56,205	△56,294
投資その他の資産合計	486,849	475,548
固定資産合計	9,875,270	10,314,078
資産合計	21,031,796	21,196,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,270,367	2,144,789
電子記録債務	2,065,466	2,089,624
短期借入金	600,850	470,000
1年内償還予定の社債	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	862,210	955,792
未払法人税等	1,016,001	540,603
災害損失引当金	3,114	—
その他	1,332,295	1,095,909
流動負債合計	8,250,305	7,496,718
固定負債		
社債	250,000	600,000
長期借入金	4,949,009	4,418,563
完成工事補償引当金	75,234	59,303
役員退職慰労引当金	156,006	158,587
退職給付に係る負債	174,952	176,879
資産除去債務	4,704	4,702
その他	286,067	249,507
固定負債合計	5,895,975	5,667,543
負債合計	14,146,280	13,164,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	532,650	532,650
資本剰余金	318,094	318,094
利益剰余金	5,934,394	7,063,427
自己株式	△489	△489
株主資本合計	6,784,649	7,913,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,974	112,887
繰延ヘッジ損益	△2,303	—
為替換算調整勘定	2,195	5,288
その他の包括利益累計額合計	100,866	118,175
純資産合計	6,885,515	8,031,858
負債純資産合計	21,031,796	21,196,120

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年11月30日)
売上高	11,676,084	13,116,090
売上原価	8,513,106	9,989,460
売上総利益	3,162,978	3,126,629
販売費及び一般管理費	1,167,882	1,305,720
営業利益	1,995,095	1,820,909
営業外収益		
受取利息	549	318
受取配当金	4,642	2,051
受取賃貸料	21,055	22,917
受取保険金	3,979	4,329
その他	9,484	14,101
営業外収益合計	39,712	43,719
営業外費用		
支払利息	34,290	28,134
社債発行費	—	12,039
賃貸費用	10,581	10,535
その他	19,221	16,495
営業外費用合計	64,093	67,205
経常利益	1,970,714	1,797,423
特別利益		
固定資産売却益	1,007	272
特別利益合計	1,007	272
特別損失		
固定資産除却損	1,677	—
特別損失合計	1,677	—
税金等調整前四半期純利益	1,970,044	1,797,696
法人税、住民税及び事業税	755,156	493,664
法人税等調整額	△17,573	27,678
法人税等合計	737,583	521,342
四半期純利益	1,232,460	1,276,353
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,232,460	1,276,353

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年11月30日)
四半期純利益	1,232,460	1,276,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,755	11,913
繰延ヘッジ損益	511	2,303
為替換算調整勘定	664	3,092
その他の包括利益合計	△24,580	17,309
四半期包括利益	1,207,880	1,293,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,207,880	1,293,663

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,970,044	1,797,696
減価償却費	209,315	194,429
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,188	272
工事損失引当金の増減額(△は減少)	2,000	—
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	8,223	△15,931
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,225	2,581
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,615	1,926
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△3,114
受取利息及び受取配当金	△5,192	△2,370
支払利息	34,290	28,134
固定資産売却損益(△は益)	△1,007	△272
固定資産除却損	1,677	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△1,800,193	△422,301
棚卸資産の増減額(△は増加)	△515,878	258,156
仕入債務の増減額(△は減少)	1,253,896	△101,421
未払消費税等の増減額(△は減少)	74,211	△208,838
その他	39,596	3,921
小計	1,279,014	1,532,870
利息及び配当金の受取額	2,874	2,026
利息の支払額	△32,814	△27,661
法人税等の支払額	△337,628	△943,567
営業活動によるキャッシュ・フロー	911,445	563,668
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△51,429	△31,429
定期預金の払戻による収入	51,129	31,129
固定資産の取得による支出	△585,126	△589,398
固定資産の売却による収入	1,483	272
投資有価証券の取得による支出	△2,111	△1,797
貸付けによる支出	△600	—
貸付金の回収による収入	680	410
その他	8,231	△3,617
投資活動によるキャッシュ・フロー	△577,743	△594,430
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	155,000	10,000
短期借入金の返済による支出	△304,900	△140,850
長期借入れによる収入	943,200	493,700
長期借入金の返済による支出	△202,908	△930,563
社債の発行による収入	—	500,000
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
リース債務の返済による支出	△105,348	△102,276
長期未払金の返済による支出	△18,233	△16,337
ストックオプションの行使による収入	5,254	—
自己株式の取得による支出	△225	—
配当金の支払額	△91,394	△147,170
財務活動によるキャッシュ・フロー	330,444	△383,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	664	3,092
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	664,810	△411,168
現金及び現金同等物の期首残高	2,373,133	4,885,518
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,037,944	4,474,350

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレカット	建築請負	不動産賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,101,946	2,042,386	353,157	11,497,490	178,594	11,676,084	—	11,676,084
セグメント間の内部売上高 又は振替高	698,545	121,267	—	819,813	—	819,813	△819,813	—
計	9,800,491	2,163,653	353,157	12,317,303	178,594	12,495,898	△819,813	11,676,084
セグメント利益	1,650,247	44,255	275,617	1,970,120	670	1,970,790	24,304	1,995,095

- (注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産販売事業を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額には、セグメント間の取引消去25,438千円、未実現利益の調整額△1,274千円が含まれております。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレカット	建築請負	不動産賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,683,605	1,703,023	375,235	12,761,865	354,225	13,116,090	—	13,116,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	589,899	100,652	234	690,786	—	690,786	△690,786	—
計	11,273,505	1,803,676	375,469	13,452,651	354,225	13,806,876	△690,786	13,116,090
セグメント利益	1,418,030	65,270	256,385	1,739,686	44,351	1,784,037	36,871	1,820,909

- (注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産販売事業を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額には、セグメント間の取引消去35,654千円、未実現利益の調整額1,200千円が含まれております。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1 生産実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
プレカット事業	9,195,391	10,768,330
建築請負事業	—	—
不動産賃貸事業	—	—
その他事業	—	—
合計	9,195,391	10,768,330

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 金額は、販売価格によっております。

## 2 受注実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	
	受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
プレカット事業	11,464,834	5,175,802	10,253,211	4,338,061
建築請負事業	2,074,154	735,540	1,605,129	630,596
不動産賃貸事業	—	—	—	—
その他事業	—	—	76,217	41,656
合計	13,538,989	5,911,342	11,934,559	5,010,314

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 上記「その他」区分の受注高及び受注残高は、開発分譲地における木造注文住宅の建築請負に係るものであります。

## 3 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
プレカット事業	9,101,946	10,683,605
建築請負事業	2,042,386	1,703,023
不動産賃貸事業	353,157	375,235
その他事業	178,594	354,225
合計	11,676,084	13,116,090

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 上記「その他」区分の販売実績のうち、開発分譲地における木造注文住宅の建築請負に係る販売高は、120,812千円であります。